

1 研究主題 なかまとの対話を通して、学びを深めることができる子どもの育成
 ～ 互いの考えを共有し合い、自身と対話する活動も重視して ～

2 研究主題設定の理由

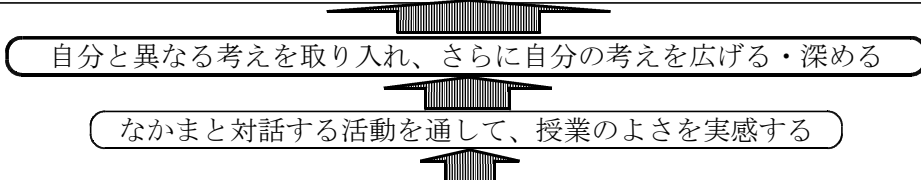
令和2年度より本校では、「なかまとの対話を通して、学びを深めることができる子どもの育成」を主題に掲げ、子どもたちの「伝える力」「聞く力」を育みながら、「互いの考えを共有し合う授業展開の工夫」を重視し、一人一人の思考力や表現力を育む対話型の授業を中心に実践研究に取り組んだ。

常時活動として、全校で「ソーシャルスキルトレーニング」に取り組んだことや、「ペアトーク」「グループトーク」などの活動を繰り返し行ったことは、「互いに認め合い、自分の考えを安心して話せる学級の基盤づくり」に有効であったと感じる。また、「なかまと対話する活動」をどのように位置付けると、互いの考えを共有し合い、自分の考えを深めることができるのかを考えて授業実践を行ったことで、相手の話に耳を傾け、自分の考えとの共通点や相違点を見付け、話し合いを通して新たにもったり確信したりした考えを相手に伝える姿が見られた。しかし、学年末のアンケートの結果から、話を「聞く」ことはできていると実感できても、相手の反応や受け答えから「伝わった」という手応えを得られず、「伝わるように話している」と自信をもつことができるまでには至っていないことが分かった。

そこで、今年度は、なかまとの対話を通して、学びを広げたり深めたりできた子どもたち自身が実感できるようにするため、「まとめる」「振り返る」場面で、「対話を通して自分の考えがどのように変化したのか」を自身と対話し、思考を巡らせるような活動も重視することで、目指す子ども像に迫りたいと考える。

3 研究の視点

目指す子ども像 = 「なかまとの対話を通して、学びを深めることができる子ども」



授業実践 「伝える力」「聞く力」を育み、**互いの考えを共有し合う**授業展開の工夫

II

(実践の場)

- 各教科の学習
- 道徳・学級活動・総合的な学習 (行事に向けた取り組みも含む)

伝える : 相手の考えと比べながら伝える

聞く : 自分の考えと比べながら聞く

伝える : 自分の考えや思いを的確な言葉で表現して伝える

聞く : 相手の考えや思いを否定せずに受け止めて聞く

➡

常時活動 互いに認め合い、安心して生活できる学級の基盤づくり

(活動の場)

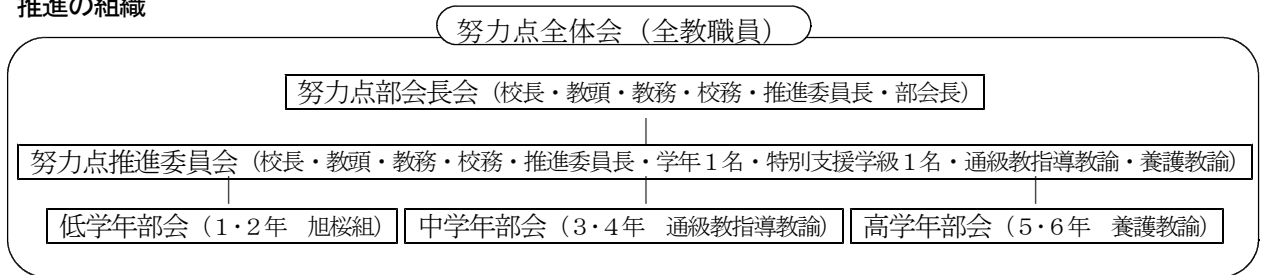
- 朝の会・帰りの会
- 業前タイム
- 係活動・当番活動
- 給食の時間や清掃時間
- 休み時間

- ◎ プロジェクト活動 (日常生活での取り組み)
- ◎ ソーシャルスキルトレーニング(SST)

伝える !: 相手の思いや考えを否定せずに、自分の考えや思いを伝える

聞く !: 自分の思いや考えと異なっても、受容的・共感的に相手の話を聞く

4 推進の組織



5 推進方法

以下の方法に基づき、努力点での取り組みを推進していく。

- 各学年ごとに、年間の努力点推進計画を立てて、計画的に実践を進める。
- 学級担任、通級指導教諭、養護教諭は、年1回授業を公開する。
- 授業公開の時期は、時期が集中しないように部会内で前後期に調整して実施する。
- 授業実践にあたり、低・中・高学年の各部会を中心に、事前検討・事後協議を行う。
- 年度末には、最終報告書を作成して、努力点の振り返りを行い、研究をまとめる。

6 年間計画

月	日	曜日	努力点に関わる予定	主な内容
4	9	金	努力点部会長会	○ 推進の方針決定
4	15	木	努力点全体会	○ 推進計画の共通理解 ○ 全体授業の授業者決定
5月中 アンケート実施				
5	13	木	努力点部会	○ 常時活動・授業実践の計画 ○ 授業公開予定検討
随時 事前検討・授業実践・事後協議				
7	8	木	努力点部会	○ 常時活動等についての進捗状況の確認・情報交換
随時 事前検討・授業実践・事後協議				
10	21	木	努力点全体会	○ 事前検討
11	4	木	努力点全体会	○ 全体授業、事後協議
12	9	木	努力点推進委員会	○ 最終報告書案検討 ○ アンケート内容検討
1	13	木	努力点部会	○ 常時活動等についての進捗状況の確認・情報交換
1月中 アンケート実施				
随時 最終報告書作成				
2	10	月	努力点全体会	○ 1年間の実践の振り返り
3	18	金	努力点推進委員会	○ 来年度の方向性について